校了	制作会社：あかがね　　制作者：辻
14.09.08	校正者：鈴木　悠太　様

MAM-763B　ZZB2　2015年1月5日発行

LIXIL TOSTEM 把手セット（S型 手動プッシュグリップ）取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

※商品により、シリンダー形状、オーナーキーの有無は異なる場合があります。

■梱包明細

※取付け前に必ず梱包内容をご確認ください。

■把手セット

名　称	入　数	詳　細
外側把手	1　個	※シリンダーカバー（上下）は組込み済みです。
内側把手	1　個	―――
把手取付け部品	1セット	内側台座カバー／2個、皿小ねじM5×25／4本
箱錠セット	1セット	箱錠／2個、ラッチ箱錠／1個、皿小ねじM4×16／6本（鋼板ドア用）、皿タッピンねじφ4×12／6本（アルミドア用）
サムターン・セキュリティサムターンセット*1	1セット	サムターン／1個、トラス小ねじM5×45／2本（頭部塗装付き）、セキュリティサムターン／1個、サムターンキー／2本、サムターン座／1個、トラス小ねじM5×45／2本（頭部塗装なし）
取付け説明書	1　枚	―――
お施主さま用取扱い説明書	1　冊	袋入り

*1 防火戸シリーズの場合、セキュリティサムターンセットが2セットになります。
ドア厚60mm用の場合、トラス小ねじの長さがM5×65になります。

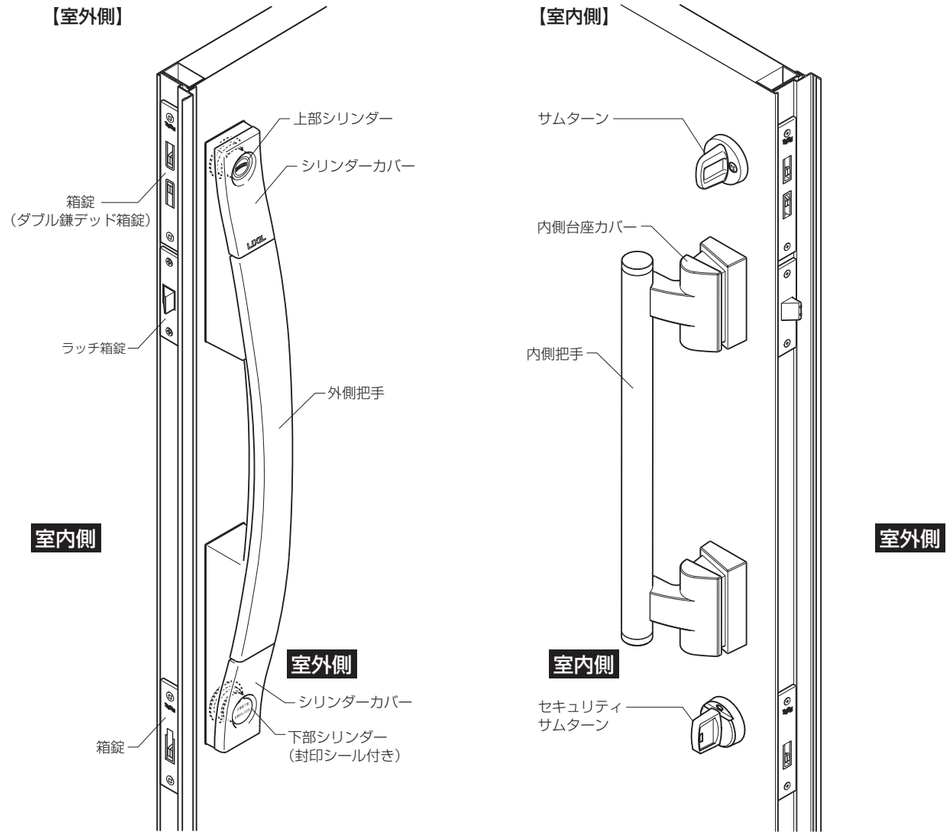
■固定把手セット　※両開きの場合のみ

名　称	入　数	詳　細
外側把手	1　個	※シリンダーカバー（上下）は組込み済みです。
内側把手	1　個	―――
把手取付け部品	1セット	内側台座カバー／2個、皿小ねじM5×25／4本

■別途手配品

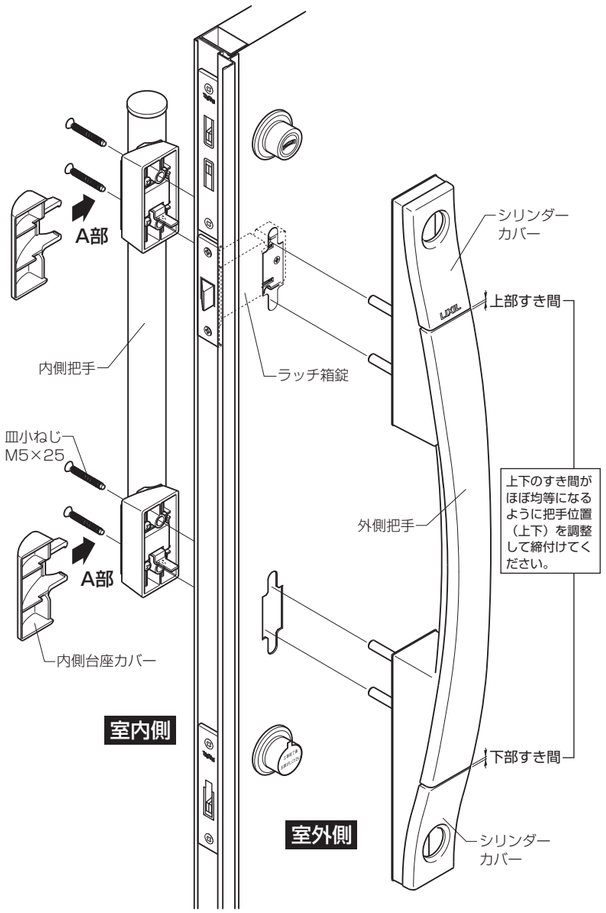
名　称	入　数	詳　細
シリンダーセット	1セット	シリンダー／2個、オーナーキー／1本、子鍵／4本、工事用キー（コンストラクションキー）／3本

■取付け完成図



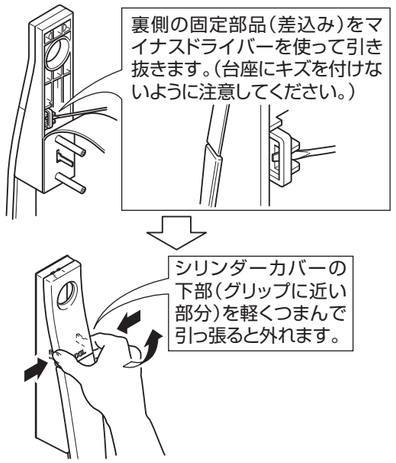
5 把手の取付け

①外側把手を室外側から差込みます。（落下防止のため、②で固定するまで手を離さないでください。）
②内側把手を皿小ねじで固定します。
　このとき、外側把手のシリンダーカバーとのすき間が上下均等となるように、外側把手の位置を上下に調整してください。
③内側台座カバーを内側把手に取付けます。
④両開き子扉には、上記①･②･③の手順で固定把手を取付けます。



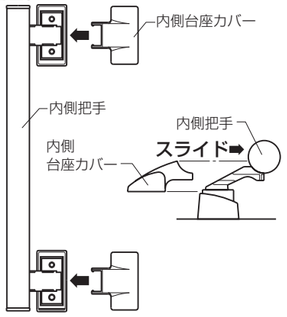
■シリンダーカバーの外し方（メンテナンス時）

※シリンダーカバーは外れないようになっています。キズなどで交換する場合は、下記の手順で取外すことが出来ます。

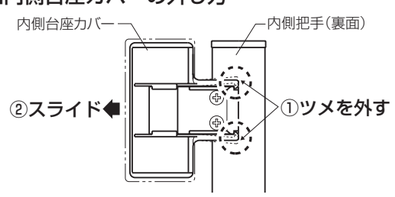


取付け時は逆の手順で、カバーを取付けた後、固定部品を奥まで差込んでください。

■内側台座カバーの取付け方（A部詳細図）



■内側台座カバーの外し方



■コンストラクション装置について

●封印シールが張られていないシリンダーには、コンストラクション装置が組込まれています。施工の際は、工事専用のコンストラクションキーをご使用ください。施工後、お施主さま専用キーを使用するとコンストラクション装置が解除され、以後はお施主さま専用キーでなければ開閉できません。
●封印シールが張られているシリンダーには、コンストラクション装置が組込まれていません。

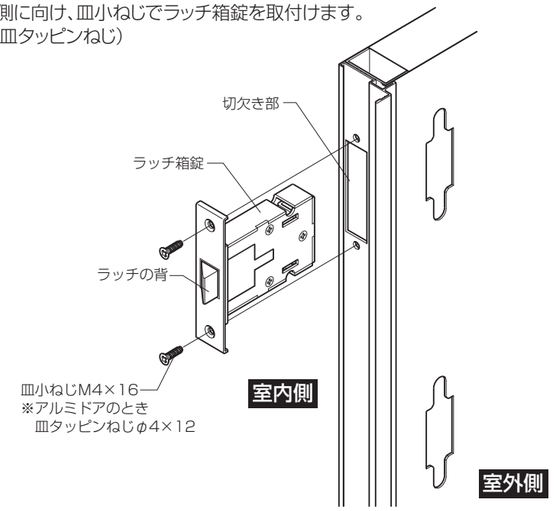
株式会社 LIXIL

図番	用紙サイズ（表色数/裏色数）×枚数	形式	折数	設指番号
G011SI0102	A3（1/1）×1	単票	8	DH-14163

■取付け順序

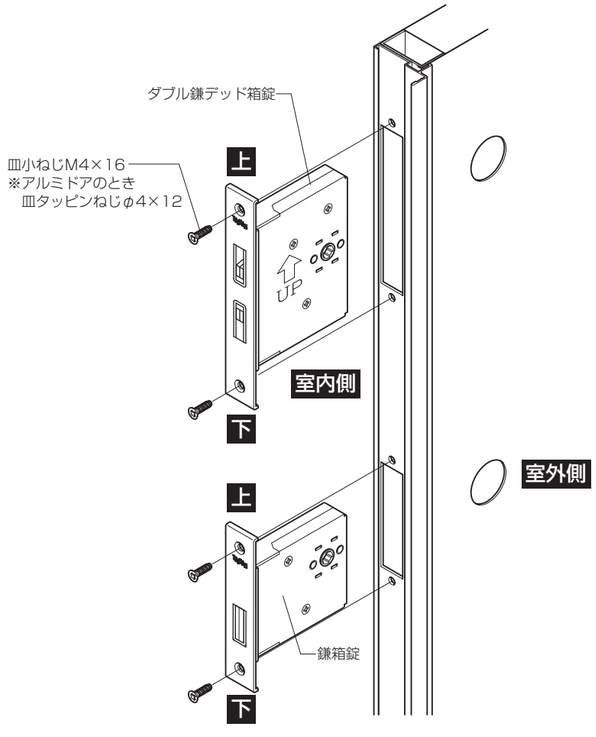
1 ラッチ箱錠の取付け

●ラッチの背を室外側に向け、皿小ねじでラッチ箱錠を取付けます。
（アルミドアのとき皿タッピンねじ）



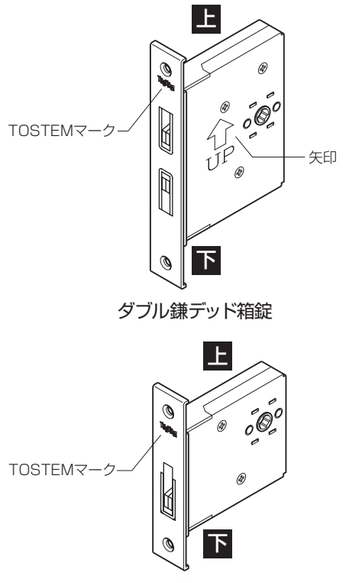
2 箱錠の取付け

①ドア上部の切欠き部に、ダブル鎌デッド箱錠を皿小ねじ（アルミドアのとき皿タッピンねじ）で取付けます。
※側面の矢印に従い、上下を確認して取付けてください。（下図「箱錠の取付け向き」参照）
※商品により、鎌箱錠を使用する場合があります。
②ドア下部の切欠き部に、鎌箱錠を皿小ねじ（アルミドアのとき皿タッピンねじ）で取付けます。
※鎌箱錠は「TOSTEMマーク」を上にして取付けてください。（下図「箱錠の取付け向き」参照）



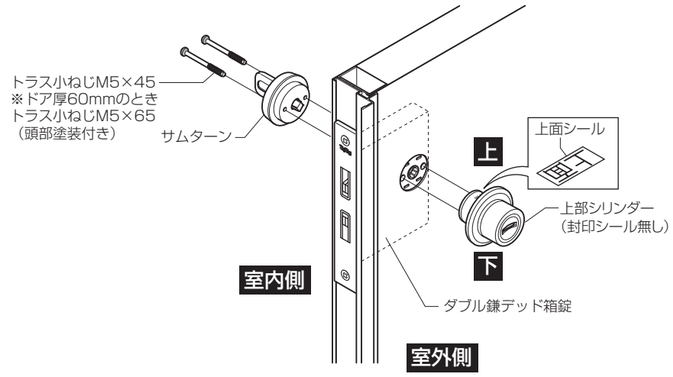
■箱錠の取付け向き

※TOSTEMマークの位置、または側面の矢印で上下を確認して取付けてください。



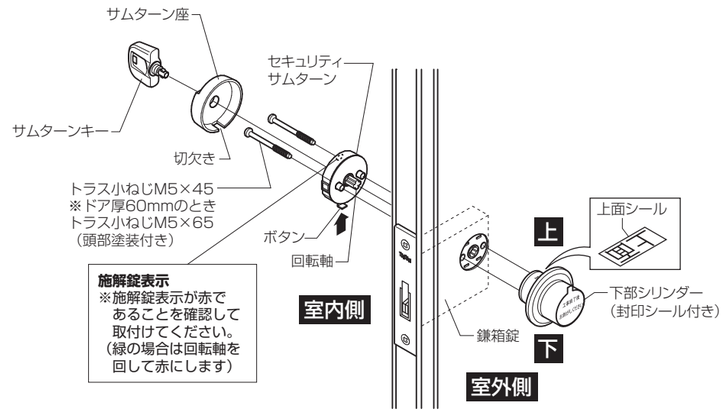
3 上部シリンダー、サムターンの取付け

①上部シリンダー（封印シール無し）の上面シールを上に向けます。
②シリンダー背面の出っ張り（4ヵ所）を、ダブル鎌デッド箱錠（上部箱錠）の角穴に合わせて差込みます。
③サムターンをトラス小ねじで上部シリンダーに取付けます。
※防火戸シリーズの場合、上下共にセキュリティサムターンを取付けてください。（4参照）



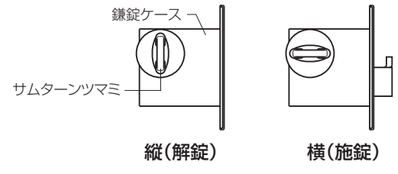
4 下部シリンダー、サムターンの取付け

①下部シリンダー（封印シール付き）の上面シールを上に向けます。（封印シール文字が読めるように上に向けます。）
②シリンダー背面の出っ張り（4ヵ所）を、鎌箱錠（下部箱錠）の角穴に合わせて差込みます。
③セキュリティサムターンのボタンを下に向け、トラス小ねじで封印シール付きシリンダーに取付けます。
④サムターン座の切欠きを、セキュリティサムターンのボタンの向きに合わせてはめ込みます。
⑤ボタンを上に押上げながら、サムターンキーを差込みます。（ボタンが戻るとサムターンキーは抜けなくなります。）



■サムターンツマミの操作

※サムターンツマミは縦にして取付けてください。



※セキュリティサムターンは施解錠表示が、解錠時「赤」、施錠時「緑」になります。